

令和2年5月定例教育委員会会議

- 開催日時 令和2年5月21日(木)
午後1時30分～午後2時34分
- 開催場所 鹿嶋市役所 3階 会議室303
- 出席委員 教育長 川村 等
教育長職務代理者 岡見 文彦
委員 信楽 哲
委員 原 キミ
委員 大槻 啓子
委員 大崎 千帆
- 事務局出席者 教育委員会事務局部長 佐藤由起子
教育委員会事務局次長 大須賀規幸
教育委員会事務局次長 宮崎 正明
総務就学課長 君和田浩幸
幼児教育課長 堤 芳隆
教育指導担当参事兼課長 石津 光彦
中央図書館長 飯塚 貴子
総務就学課長補佐 平山麻由美
総務就学課主事 横田 友人
- 議 事
 - 1 議 案
 - 公 開 議案第34号 鹿嶋市奨学生選考審査会委員の人事について (総務就学課)
 - 公 開 議案第35号 学校医等の人事について (総務就学課)
 - 2 協議・報告事項網

公 開 令和2年度第2回鹿嶋市議会定例会提出議案について
令和2年度鹿嶋市一般会計補正予算のうち教育委員会所管予算

公 開 新型コロナウイルス感染症への対応について

4 その他

- ・教育委員会行政運営方針について
- ・教育委員会関係日程

○ 会議録

1 開 会

教育長から開会が宣言された。

2 議事録署名人の氏名

大崎 千帆委員が指名された。

3 議 案

議案第34号 鹿嶋市奨学生選考審査会委員の人事について

(総務就学課) 前委員の任期満了に伴い、新たに委員を委嘱または任命する。

【主な質疑・意見等】

特になし。

※議案第34号については、原案どおり可決された。

議案第35号 学校医等の人事について

(総務就学課) 願いにより学校薬剤師を解き、新たに委嘱する。

【主な質疑・意見等】

特になし。

※議案第35号については、原案どおり可決された。

4 協議・報告事項

- ・令和2年度第2回鹿嶋市議会定例会提出議案について

令和2年度鹿嶋市一般会計補正予算のうち教育員会所管予算

【主な質疑・意見等】

- (委員) 現段階で、学校の消毒液とマスクの備蓄はどれぐらいあるか。
- (部長) マスクは市民生活部と健康福祉部、コロナ対策室本部と連携をして、1万枚分用意した。小中学校、幼稚園、保育園に配布しており、主に忘れたなどの理由で用意が出来なかった子ども達に対して配布できる状況である。併せて今回の6月補正にて児童用マスク等を購入する予定である。消毒液については、3月に購入し、各学校に配布済みであるが、状況をみながら新たに購入していく予定である。
- (委員) 新聞などで、各市町村が団体によるマスク等の寄贈を受けたとあったが、鹿嶋市でも団体からマスク等の寄贈はあったか。
- (部長) 色々な団体からマスクの寄贈はあり、贈呈式も行った。
- (委員) 体温計については、どこの薬局やドラッグストアに行っても見かけないが、小中学校などに、必要な数は入っているのか。
- (総務就学課) 3月に取り急ぎ、各学校及び児童クラブに各1個ずつ発注した。学校に納品するまでに時間はかかったが、無事に配布はできた。薬局等でもなかなか出回らないが、補正予算が出たら、早急に業者に発注はする予定である。
- (委員) 今週から学校では分散登校が始まり、6月には、本格的に登校するようになると思うが、学校での体温の検査を行う場合、例えば37度以上あった児童生徒については、自宅に帰宅していただくことを先生や保護者には、理解してもらっているか。
- (教育指導課) 鹿嶋市独自のガイドラインを学校再開に向けて出してい

る。規定として37.5度のラインは出している。先生方によっては37.5度よりも1度低いから登校しても大丈夫と判断していることがあるため、また新たに6月の学校再開に向けて6月版の鹿嶋市のガイドラインというものを校長会の際に出す予定である。

(委員) 保健衛生関係の予算について、幼稚園と保育園は1園あたり10万円という計算であるが、規模の大きさに関係なく一律10万円なのか。そうだとすると小中学校の要求額は、学校数から見ると大分少なく感じるが、当初予算の消耗品費の方で賄えるからそうしているのか。小中学校は規模によって3密になりやすいとか、手洗いする場所が少ない学校もあると思うが消毒液で補った方がいいのか。

(幼児教育課) 今回の幼稚園、保育園の積算基礎として、1園あたり一律10万円を予算に組み込んだ。物品の購入自体は市から一括で行い、児童数に応じて幼稚園や保育園の方に配布していく。

(委員) 小中学校の方でも配られたものでやるのではなく、不足している分は、教育委員会に相談をして、予算を取っていくのか。

(総務就学課) 学校の予算が不足する分は、補正で対応する。今回に限っては、小学生が使用するマスクは子どもマスクが一番適しているが、なかなか予備がないため、購入を考えている。中学生は大人サイズでも適しているため、鹿嶋市の方に寄付していただいたマスクを活用しながら配布している経過がある。消毒液に関しては3月に1箱20Lの消毒液を学校の規模に応じて配布している。現在、鹿嶋市役所、大野出張所、市民センターで配布をしている消毒液を活用している。今後、配布の規模が縮小し、不足した場合は9月の補正で対応する。補正の時には、その時の状況に応じて対応していく予定である。

(委員) 新聞や報道で、生活困窮の世代の子ども達を取り上げてい

たが、準要保護の子どもを対象に、休校中の給食に代わる手立てが提供されて良かった。図書館についても茨城新聞で鹿嶋市の図書館で貸出しが再開したと記事が出されていた。図書を読みたい借りたい人が多くいるということだから、そのような点で良かったと感じる。

(委員) 英語指導事業予算の減について、業者に委託していたものを直接市で対応することだが、どのような理由から業者ではなく、市の直接の採用になったのか。

(教育指導課) 昨年度までは委託先の社員として、鹿嶋市に派遣している形だった。委託先の社員なのでいろいろな制約があり、市で直接雇った方が、委託先の管理者を通じるよりも鹿嶋市の方針を伝えることが出来るメリットがある。また、現在の鹿嶋市の中学生英語についても、彼の貢献もあって英検3級レベルまで上がっている。このことから、優秀な人材でもあり、鹿嶋市の英語教育に対して熟知しており、今後も期待できるということで、直接採用とした。

(委員) 休校に伴ってオンライン授業を進めている学校もあるが、オンライン授業に関係する補正は必要ではないのか。

(総務就学課) オンライン授業に関しては、国のGIGAスクール構想に加え、今回のコロナウイルス感染症によりオンライン授業が重要視され、国としても早急に整備していく方針である。国では2400億円の補正が決定しており、今後、国から補助金などの申請が来ると考えているが、まだ連絡が来ていない。
現在、各学校に1人1台ではないが、タブレットを貸与している。ある機材を利用して、オンライン授業の準備をしてきたが、今後は補助金を活用しながら、機材の充実を図っていききたい。

(委員) 第2波、第3波がある場合、同じことがあってもいけないので、オンライン授業の準備に関してはお願いしたい。また、茨城オンラインスタディは現在、鹿嶋市の学校ではどの程度、使用されているのか。

(教育指導課) 各学校のホームページに茨城オンラインスタディのURLを載せて、そこから直接飛べるようにしており、すべての学校が使用している。ただあくまでも、ネット環境のある子ども達が家で自主学習を行えるようになっているが、ネット環境のない家庭では行えないため、指導課の方でUSBにその動画のデータを各学校に配布して、そのデータをDVDにし、児童生徒に配布することをお願いしている。それでもDVDプレイヤーは各学校でそんなに数はないので、全員に行き渡ってない場合もある。

また、三笠小学校と5つの中学校の先生が、動画を使用してオンライン授業を行っている。

(教育長) オンライン授業は課題が多く、今取り掛かってもすぐに来ないことがある。中野西小学校で2回行い、少ない人数であれば実施は可能だったが、40人近い人数を双方向で行うことになると難しくなる。

(教育指導課) オンライン事業で「zoom (ズーム)」を使用している大学があるが、市としては、セキュリティーの面を重視して、重くはなるが、よりセキュリティーの高いものを導入した。

(委員) 中野西小学校でのオンライン授業はスムーズに進められたのか。

(教育長) 授業時数からしたら1時間ずつぐらいしか行っておらず、台数もあるわけでもないのだから、そんなにはできない。双方向のオンライン授業ができるのか、できるならどの方法で行うか、研究する必要がある。それを参考にして他の学校に広めていければと考えている。

・新型コロナウイルス感染症の対応について

【主な質疑・意見】

(委員) 困窮家庭や準要保護の話があったが、コロナウイルス感染症の影響で、新たに要保護準要保護が急増しているわけではないか。

(総務就学課) 現時点では、そのような影響はない。

5 その他

- ・教育行政運営方針について
- ・鹿嶋市教育委員会関係日程について

6 閉 会

教育長から閉会が宣言された。